

2010年度事業計画書

自 2010年4月1日

至 2011年3月31日

リーマンブラザース破綻に端を発した急激な景気の落ち込みも、政府の緊急経済対策や企業努力により徐々に回復しつつありますが、雇用環境の悪化、消費意欲の低迷はなお深刻な状況が続いています。歴史的な政権交代を実現した民主党も「政治とカネ」をめぐる問題や財源不足などから厳しい政権運営を強いられており、夏の参院選挙に向けて政治の流動化も予想されます。

こうした不透明な環境の中、当社の事業活動も予断を許さないものがありますが、調査の質を維持し委託先の要望に応じていくためにも、世論調査・社会調査の受託を中心に積極的に事業を進めます。入札による価格競争の広がりにも耐えられるよう社内システムの見直しなどコスト対策にも取り組み、事業運営の安定化に努めます。

当期の事業収入計画としては、楽観を許さない厳しい事業環境ながら前期予算と同額の15億5000万円の予算を組みました。

調査普及事業は「中央調査報」の発行及び自主テーマ調査の結果公表により調査に関する普及、研究を進めます。

個人情報保護体制については、プライバシーマークの更新年に当たりますが、所定の職員教育、情報漏えいを防ぐ安全管理対策、苦情対応体制の一層の点検整備に努めます。

新公益法人制度への対応につきましては、一般社団法人化の方向で検討を続けていきます。

1. 調査事業

(1) 受託調査

官公庁からの受託調査は、一般競争入札制の進行と予算削減の影響で受注件数の減少が懸念されますが、当社の強みである全国規模の実施能力を生かした企画力の強化と受託率の安定向上を目指します。高い評価を得ている学術調査は、顧客の信頼に応え、新しい調査手法への対応にも努めていきます。減少傾向にあった市場調査の受託は、昨年から増加傾向に転じたので、この勢いを維持し全国調査員網の強みを生かした定量サンプリング調査を中心に拡大を図ります。

(2) 自主企画調査

「個人オムニバス調査」は、エリアサンプリング方式の毎月調査と、住民基本台帳閲覧による季刊調査の2本立てで顧客の要望に応え、受託拡大に努めます。

「マスターサンプル」は、引き続き拡充を図り、郵送調査などのニーズに適した提案ツールとして営業開発を行います。

(3) 集計受託

迅速で的確な処理により顧客の信頼を得ていますが、引き続き既存顧客からの受注確保に努めるとともに、新規顧客の開拓やパソコンによるデータベース処理などの新しい分野への対応により、受託拡大を図ります。

2. 実 査 ネット ワ ー ク

個人情報保護意識の高まりや高齢者をねらった振り込め詐欺被害も後を絶たず、これらを背景に調査協力への警戒感は依然として強く、実査を取り巻く環境の厳しさに変わりはありません。調査員に正しい認識を持たせるとともに、調査対象者から理解と協力を得られるよう力を注いでいきます。

調査員への教育やコミュニケーション維持を図る手段として、「調査員レター」を復刊できるよう努めていきます。

3. 調 査 の 普 及 ・ 研 究

機関紙「中央調査報」の毎月発行、マスメディアへの自主調査結果公表、「ホームページ」の改善などを通じて、調査の普及、推進を図ります。

調査環境の悪化に伴う回収率の低下に対処するため、対象者の理解や協力をより得やすくするための調査員教育、調査方法などの改善に取り組みます。

4. 社 内 運 営

多様な業務にも対応できる人材を育成するため、当期も引き続き有効な「職員研修制度」を検討・選択し、一層の充実を図ります。

コンピュータシステムは、昨年度サーバーの更新によりネットワークの安全性、信頼性を向上させることができましたが、今年度は集計システムやサンプリングシステムなどの基幹業務システムを刷新し、より効率的なシステムの導入を図ります。